

14-5 ポートボール



活動

スポーツのルールを理解する。

かたち



時間

せつめい編

- (文-47 Vてはいけません)
- 文-52 V(られ)ます(可能)
- 文-53 なければなりません
- 助-28 までに

談話の技術

準備する物

使うことば

ポートボール*、知る、小学生*、よく、やる、スポーツ、バレーボール*、同じ、大きさ、ボール*、使う、どんな、似る、思う、~人、チーム*、作る、その、中、ゴールマン*、ガードマン*、ゴール*、台*、上、受け取る*、相手*、前、じゃま、ゲーム*、始める、まず、両方、~ずつ、出る、コート*、真ん中、立つ、そして、ジャンプ〔する〕*、審判*、投げる、手、たたく*、ドリブル〔する〕*、パス〔する〕*、自分、運ぶ、~点、もらう、点、取る、~分、終わる、その、たくさん、勝つ、ルール*、選手*、片手*、両手*、持つ、続ける、~歩*、以上、歩く、外、サイドライン*
じゃまをする / 点をとる / がんばれ / ~対~ / おめでとう / ざんねんだったね

手 順

1. 学習者は<モデルテキスト>を読む。
2. 似たスポーツがあるかどうか考える。
3. できれば実際にポートボールをやってみる。

ポートボールを知っていますか。日本の小学生がよくやるスポーツで、バレーボールと同じぐらいの大きさのボールを使います。どんなスポーツにしていると思いますか。

ポートボールのやり方

- ① 6人のチームを作る。(5人でもいい。) その中の1人はゴールマン、1人はガードマンになる。
- ② ゴールマンはゴールの台の上で、ボールを受けとらなければならない。ガードマンは、あい手のチームのゴールマンの前において、ゴールマンのじゃまをする。
- ③ ゲームを始めるとき、まず、両方のチームから1人ずつ出て、コートの中真ん中に立つ。そして、ジャンプして、しんぱんがなげたボールを手でたたく。
- ④ ボールをドリブルしたり、パスしたりして、自分のチームのゴールにボールを運ぶ。そして、自分のチームのゴールマンにボールをなげる。ゴールマンがボールを受けとったとき、1てんもらえる。
- ⑤ ゲームは6分で終わる。そのときまでに、てんをたくさんとったチームがかつ。

ポートボールのルール

- ① せん手はかた手でドリブルしなければならない。ドリブルしたあとで、ボールを両手で持ってから、つづけてドリブルしてはいけない。また、ボールを持って、3歩以上歩いてはいけない。
- ② ボールがコートの外に出たときは、サイドラインの外からボールをなげなければならない。

バリエーション

(1) <モデルテキスト>を参考にして、スポーツかゲームを説明する作文を書く。

先生へ

- ・ ポートボールはバスケットボールやハンドボールに似ている。
- ・ 実際にやってみると、細かいルールは、バスケットボールやハンドボールのルールを参考にするといよい。
- ・ ゲームのとき使う表現：
 - 応援するとき：がんばれ！
 - ゲームの結果報告：3たい6で、赤チームがかちました
 - 勝ったチームに：おめでとう
 - 負けたチームに：ざんねんだったね
- ・ 「その」はここでは文脈指示の用法。「せつめい編」語-09「こそあど」参照。
- ・ 「Aさ / ANさ」は学習項目として扱っていないので、ここでは「大きさ」は語彙として扱う。
- ・ 参考文献：宇土正彦編著（1998）『新版体育の学習4年』光文書院

